

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 地 図 ) 小委員会委員長

安田 善紀



<p>調 査 研 究  ・  審 議 の 経 過</p>	<p>1 審査の対象となった発行者名及び数 ・東京書籍、帝国書院の 2 者</p> <p>2 調査研究の手順 ・第 1 回調査委員会（7 月 5 日）で 2 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（8 月 3 日、4 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理をするとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2～6 を作成した。</p> <p>3 調査研究のための観点、項目 ・取り扱い内容については、各学年の目標や達成する上で、どのような学習活動が取り上げられているか、また、「地域の人々の社会生活の様子」や「我が国の国土や産業に関する社会的事象」、「我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象」をより具体的に把握するために地図や年表、具体的資料が活用、探求しやすいものになっているかという視点で調査し、整理した。 ・内容の程度・配列・分量等については、地図や資料等に多様性や活用性があり系統的・発展的に学習できるような工夫がなされているか、前回とも比較し適切な分量であるかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、今日的な課題の取り扱いはどうか、児童が学習意欲をもって主体的に取り組めるような工夫がなされているか、また、使用上の便宜がどのように図られているかという視点で調査し整理した。</p>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>1 審議結果の概略</p> <p>(1) 東京書籍については、日本列島を大きくとらえ、都道府県の位置や名称がよくわかる構成になっている。また、デジタルコンテンツを豊富に取り込み、視覚的に捉えやすくしている。さらに、各ページにわたり、地図記号や地図図形等の情報が多く、調べ学習に活用しやすい。ほかに地図資料において自然災害・日本の歴史についての記述が充実している特色があり、優れている。</p> <p>帝国書院については、地図の見やすさ・わかりやすさを追求し、広く見渡せる地図、詳細をよく見ることができる地図、全図等を設け、特色ある地域の地形、気候、産業、位置等がよくわかる構成になっている。また、各ページに地図マスターへの道というクイズや地図の活用を促す言葉を掲載することで児童が主体的に学習ができるよう工夫するなどの特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、両者とも「キャラクターのセリフ」により地図の活用の着眼点を示すことで、グラフや写真等が見やすく配慮しているなどの話題も出されていた。</p>

## 地図（社会）の目標について

## 【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

## 【学年・領域等の目標など】

## [社会・第3学年]

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

## [社会・第4学年]

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

## [社会・第5学年]

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

〔社会・第6学年〕

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

【参考】

○ 目標の改善

幼児教育で育まれたものや、生活科をはじめとする小学校低学年における学習を通じて身に付けた資質・能力の上に、小学校社会科において育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って明確化するとともに、「社会的な見方・考え方」については、小学校社会科の特質を踏まえ、小学校学習指導要領解説第2章第1節1①において示すとおり、「社会的事象の見方・考え方」と言い換え、資質・能力全体に関わるものとして位置付ける方向で教科の目標の改善を図る。

各学年の目標も、三つの柱に沿った資質・能力として整理・明確化する。その際、第3学年及び第4学年の目標と内容については、系統的、段階的に再整理する。また、地図帳の使用を第3学年から目標に示す。

○ 標準授業時数

第3学年— 70 単位時間	第4学年— 90 単位時間
第5学年— 100 単位時間	第6学年— 105 単位時間

様式3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
			2・東書	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	地図・303
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列					<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図帳の使い方」において、方位磁針を用いて身近な方位を調べたり、地図のきまりを使った地図づくりに取り組んだりする活動</li> <li>・「日本の全図」において、日本の東西南北端を調べたり、都市と都市との間の距離を調べたりする活動</li> <li>・「日本の地方図」において、本州から九州へ渡る交通路を調べたり、北陸地方の伝統工芸を読み取ったりする活動</li> <li>・「世界の地図」において、世界で一番高い所と深い所を調べたり、北極海を囲んでいる全ての国を調べたりする活動</li> <li>・「資料・統計」において、日本の最大の貿易相手国を読み取ったり、太平洋ベルトにみられる工業地帯や工業地域が海に面している理由を考えたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島全体の災害地図を掲載し、災害の起きる要因や防災対策について考察したり、日本と世界の歴史地図を掲載し、同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の各地の気温と降水量」や「地域による農業生産のちがひ」など、各種の基礎的な資料を掲載し、基礎的かつ基本的な知識・技能を活用して課題を追究できるような工夫</li> </ul> </li> </ul>
使 用 上 の 配 慮 等					<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒頭の世界地図に、世界の国の「ありがとう」の言葉などを掲載したり、日本地図に、各都道府県からイメージされる特産品などのイラストを掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ キャラクターが地図の基本を解説したり、「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、地形がわかるドローン動画を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
そ の 他					<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

様式3

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	46・帝国	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	地図・304	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地図帳の使い方」において、縮尺を用いて実際の距離を調べたり、方位や地図記号などを用いた宝探しに取り組んだりする活動</li> <li>・「日本の全図」において、富士山がある県を調べたり、東北地方の大きな祭りや伝統行事を調べたりする活動</li> <li>・「日本の地方図」において、中国地方で一番高い山の高さを調べたり、沖縄島で栽培されている果物を読み取ったりする活動</li> <li>・「世界の地図」において、本初子午線上に都市記号がある国を調べたり、オーストラリアでたくさん採れる原料品を調べたりする活動</li> <li>・「資料・統計」において、日本が世界各地に輸出しているものを読み取ったり、田が広がっているところの地形の特徴を考えたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災マップ」の具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考えたり、比較・関連させて考察できる資料を掲載し、社会的な見方・考え方を働かせたりする活動</li> </ul> </li> <li>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸時代の結びつき」や「日本の世界遺産」など、歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し、歴史事象を地理的な空間の広がり結び付けることで深い学びを実現できるような工夫</li> </ul> </li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図の見方を示唆したり、活用を促したりするキャラクターを掲載したり、世界全図では、世界のあいさつを二次元コードの音声コンテンツと併せて掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「トライ!」「地図マスターへの道」を設けたり、巻末に「地図マスターへの道」のまとめを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、47都道府県のクイズを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

様式 4

<地図の具体的な調査項目>

◎調査項目

- ① 地図帳の使い方、日本の全図、日本の地方図、世界の地図、資料・統計のページ数及び総ページ数
- ② 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数
  - (1) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げている箇所数
  - (2) 北方領土に関する内容を取り上げている箇所数
  - (3) 道内の市町村等を取り上げている箇所数

◎調査項目にした理由

- ① 広い視野から地域社会や我が国の国土に対する理解を一層深め、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けることが求められていることから、内容ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 我が国の国土の自然などの様子に関する学習等では、我が国の自然災害の防止について、具体的にとらえさせることが求められていることから、自然災害に関する内容について把握する必要があるため。
- ③ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東書	帝国	
①	内容ごとのページ数及び 総ページ数	地図帳の使い方	ページ数	8	14	
			全体に占める割合	8%	11%	
		日本の全図	ページ数	7	15	
			全体に占める割合	7%	11%	
		日本の地方図	ページ数	34	46	
			全体に占める割合	33%	35%	
		世界の地図	ページ数	20	20	
			全体に占める割合	20%	15%	
		資料・統計	ページ数	33	37	
			全体に占める割合	32%	28%	
		総ページ数			102	132
		前回の総ページ数			102	120
		増減			0%	10%
②	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数		12	21		
③	北海道とかかわりのある内容 を取り上げている箇所数	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げている箇所数	6	9		
		北方領土に関する内容を取り上げている箇所数	13	16		
		道内の市町村等を取り上げている箇所数	37	43		

様式 6

様式 5 の調査項目③ [北海道とかかわりのある内容] の具体的な内容

者	内容	教科書の構成 (該当ページ)	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方 (P51)	一般図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立アイヌ民族博物館 (位置)</li> <li>・二風谷アットウシ (位置)</li> <li>・シヤクシャインの戦い (位置)</li> </ul>
		北海道地方 (P52)	囲み	・アイヌ語地名・道内のアイヌ語に由来する地名の例や意味などを記載
		日本の都道府県の統計 (P84)	表	・北海道のおもな伝統工芸品として二風谷イタ、二風谷アットウシを示す
北方領土	日本の 47 都道府県 (P6)	一般図	・北方領土が北海道地方であることを示す	
	日本とそのまわり (P15)	囲み	・ホップ↑、ステップ↑、マップでジャンプ↑・日本の北の端を答えるよう記載	
	日本とそのまわり (P16)	資料図 写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の領土として歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島を北方領土として示す</li> <li>・北方領土は日本固有の領土であるがロシアが不法に占拠していることを説明</li> </ul>	
	日本列島-九州から北海道- (P18)	一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す	
	北海道地方 (P52)	一般図 地図 地図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す</li> <li>・択捉島・択捉島の大きさや地形を示す</li> <li>・北海道、北方領土、千島列島の位置関係を示す</li> </ul>	
	オセアニア (P65)	一般図	・択捉島を日本の国土として示す	
	日本の自然◆地形◆ (P67)	資料図	・日本の地形・北方領土の地形のようすを示す	
	日本の歴史◆世界とのかかわり◆② (P80)	資料図	・明治初期に確定した日本の領土・第二次世界大戦後の日本の領域・明治時代初めと第二次世界大戦後の日本の領土に北方領土が含まれていることを示す	
	日本の都道府県の統計 (P83)	表	・「北海道の人口には、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の人口はふくまれていない。」ことについての注釈	
	日本の自然災害 (P99)	資料図	・国後島と択捉島の主な火山について示す	



帝国	アイヌの人たちの歴史・文化等	広く見わたす地図 北海道地方 (P29)	一般図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウポポイ (位置)</li> <li>・アットウシ織 (位置)</li> </ul>
		北海道地方 (P78)	資料図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道のアイヌ語地名・道内のアイヌ語に由来する地名の例や意味などを記載</li> </ul>
		北海道地方南部 (P79)	一般図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウポポイ (民族共生象徴空間) (位置)</li> <li>・アイヌの木工品 (位置)</li> </ul>
		北海道地方南部 (P80)	一般図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二風谷アイヌ文化博物館 (位置)</li> <li>・アットウシ織 (位置)</li> <li>・シャクシャインの戦い (位置)</li> </ul>
		日本の統計 (P112)	表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県別の統計・北海道のおもな伝統工芸品としてアットウシ織を示す</li> </ul>
	北方領土	広く見わたす地図 北海道地方 (P30)	一般図 地図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す</li> <li>・択捉島・択捉島の大きさや地形を示す</li> </ul>
		日本の領土とそのまわり (P31)	囲み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図マスターへの道・北方領土とよばれる島と群島の名前を四つ答えるよう記載</li> </ul>
		日本の領土とそのまわり (P32)	資料図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の領土として歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島を北方領土として示す</li> </ul>
		日本の領土とそのまわり (P32)	写真 写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本固有の領土・北方領土は日本固有の領土であるがロシアが不法に占拠していることを説明</li> <li>・日本の東西南北端・択捉島が日本の北端であることを説明</li> </ul>
		北海道地方 (P78)	一般図 地図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す</li> <li>・択捉島・択捉島の大きさや地形を示す</li> </ul>
		アジア (P86)	一般図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・択捉島を日本の国土として示す</li> </ul>
		日本の自然のようす (P96)	資料図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形のようす・北方領土の地形を示す</li> </ul>
		日本の自然災害と防災 (1) (P100)	資料図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で起きたおもな自然災害・国後島と択捉島のおもな火山について示す</li> </ul>
		日本の歴史 (P110)	資料図 年表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の領土のうつりかわり・明治時代初めと第二次世界大戦後の日本の領土に北方領土が含まれていることを示す</li> <li>・樺太・千島交換条約について示す</li> </ul>
		日本の統計 (P112)	表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県別の統計・「北海道の面積は、歯舞群島 95 km<sup>2</sup>、色丹島 248 km<sup>2</sup>、国後島 1489 km<sup>2</sup>、択捉島 3167 km<sup>2</sup>をふくむ。全国合計にもふくむ。」ことについての注釈</li> </ul>
都道府県の名前と位置 (P129)	資料図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土が北海道地方であることを示す</li> </ul>		

	世界の国々 (P131)	一般図	・択捉島が日本の国土であることを示す
--	--------------	-----	--------------------